

放課後等デイサービス 自己評価表

事業所名		放課後等デイサービス澄海(スカイ)		記入者名		佐野幸江	
		チェック項目		はい	どちらでもない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。		○			平面積で1人当たり1畳程度の場所が確保出来ている
	②	職員の配置数は適切であるか。		○			利用者数に応じて配置基準の職員を配置している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。			○		昨年度、室内のバリアフリー化は行ったが、屋外から入室のバリアフリーは行っていないが、必要になれば行う予定はある
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		○			日々のミーティングにより振り返りと目標設定を職員で共有して行っている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。		○			保護者アンケートや保護者会による意向を把握し、出来る限り改善に繋げている
	⑥	この自己評価票の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。		○			http://www.life-sapple-plus.com/ にて現在公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○		第三者機関の情報が少なく、金額的に高価な為に行う事が出来ていないが、情報収集を行い、静岡県社会福祉協議会で検討中
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。		○			社内研修は勿論、必要な社外研修にも順次参加している
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○			保護者や児童のニーズを日々のミーティングにて協議しながら、支援計画を作成している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。		○			ケース会議でのwisk検査結果で確認し支援に活用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○			日々ミーティングにて、個別や集団でのプログラムを協議して立案している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○			日々ミーティングにて、変化する個々の様子を見ながら、必要に応じて工夫している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定して支援しているか。		○			平日は学習中心、土曜日は個別支援中心に、長期休暇は集団支援を中心に設定している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○			個々に合わせて、個別に行うプログラムや、集団療育で身に付けたい事を上手く組み合わせ合わせて支援計画を作成している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。		○			毎日ミーティングを行って、支援内容の確認と役割分担の打ち合わせを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○			当日中の支援終了後には大事な事しか行っていないが、翌日には共有して話し合いを行っている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		○			関わった職員がそれぞれ記録を行い、翌日ミーティングで共有して検証・改善に活かしている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。		○			基本は6カ月ごとの見直しは行っているが、必要に応じて見直しをかけている
関係機関や保護者	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。		○			必要に応じて都度組み合わせ合わせて支援を行っている
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。		○			関りや経験から、児童にとって現状でよいと思われる支援に繋がるように、情報共有して協議出来る者が参加している
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。		○			基本的には保護者経由にて、学校行事や年間計画情報を共有しているが、急な対応に関しては学校側と直接やり取りを行って情報共有して対応している

③自己評価票

この連携		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標・工夫している点など
関係機関や保護者との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	○			保護者と通院日程を確認し、口頭や文面にて連絡や相談を行っている
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			必要に応じて就学前の施設には確認を行ったり、併用している児童に関しても、他事業所と情報共有を行っています
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			就労移行支援事業所への見学を行い、双方と情報共有を行い移行し、その後も都度双方と連絡を取り合いながらスムーズに移行していけるようにしている
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			2つの機関とはないが、発達支援コーディネーターと連携を取り、担当医とは文面により助言を受けている
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	○			感染症対策の観点から一時的に交流を控えていたが、戸外活動先での交流から再開している
	②⑦	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか。	○			自立支援協議会には、優先的に参加している
	②⑧	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			お迎え時や常日頃電話やメールなどで状況報告をしながら、課題を共有して理解している
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか。	○			職員もペアプロ研修を受けて、保護者支援の立場から、支援を行っている
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行えているか。	○			契約時、契約書や重要事項説明書にて、保護者と一緒に読み合わせを行っている
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			お迎え時や常日頃電話やメールなどで相談を受けながら助言は行っているが、適切か否かは保護者の言動からそうではないかと感じている
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	○			保護者会は保護者の要望を聞きながら、年に3～4回に計画し、職員も必要に応じて入りながら保護者中心に開催し、保護者同士の連携支援を行っている
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情に対しては、時間関係なく応じていたもので、時間帯を整備・周知し、相談支援機関とも連携を取りながら迅速に誠意を持って対応しています
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			定期的な案内は出していないが、必要に応じて文面にて情報発信を行っていて、併せてグループLINEでも発信をしている
	③⑮	個人情報に十分注意しているか。	○			職員入社時に個人情報同意書で周知し、保護者にも周知して、セキュリティー対策も取っている
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			発語の少ない児童とはジェスチャーや個別でのコミュニケーションを図り、保護者ともLINEにて日々情報共有をしている
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			コロナ禍ですが、戸外活動を少しずつ取り入れて、まずはその場での交流から再開している。
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	○			マニュアルをそれぞれ策定し、職員には周知し、保護者には掲示にて周知している
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			年2回は避難訓練や災害対策勉強会を行っており、新規利用児童に合わせて臨時に行う事もある
	④③	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			研修を受講した職員が共有し、社内研修を行うなど適切な対応が取れるよう周知している
	④④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			周囲の児童に身体的被害が及びそうな場合に限り、保護者に児童の状況と具体的対応策を説明した上で、十分に理解して頂いた上で書面にて同意を得ている

③自己評価票

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標・工夫している点など
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		現状では対象児童はにないが、今後必要な児童があれば指示を仰いで対応する
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○			ミーティングにて前日のヒヤリハットを共有し、報告書にて再度共有している